

家づくりの現場で職人とお客様の架け橋に。  
お客様の喜びの声が励みになっています。

## 株式会社 大兼工務店 入社

野村 悠梨花さん

### 現場監督

2020年 専門課程 住居環境科 修了

学生時代を振り返り「入学当初はクラスメイトの後ろをついていくようなのんびりした学生だった」という野村さん。持ち前の好奇心と向上心で知識と技能、コミュニケーション力を磨き、公共施設や住宅などの土木・建築工事を手がける会社に就職。現在は新築住宅の現場監督を担っている。学校の先輩でもある上司は野村さんの印象を「入社前から知っているけれどどんどん頼みようになってきた。しっかり者の後輩です」と話す。そんな野村さんの今後の目標はリフォームの現場に携わること。「今後も経験を重ねて成長していきたいです」。



お客様の喜びの声を聞けるのが一番のやりがいです

## この仕事や研究の魅力・やりがい

木造住宅の建築における安全、品質、予算、工程などの管理を行っています。自分の意見やお客様の要望を職人さんへ伝え、かたちにしています。そんなやりがいの大きな仕事です。お客様とは着工前の打ち合わせから約1年のお付き合いとなり、アフターフォローにも対応しています。施工中は週に一度チャットツールでお客様に進捗を報告しており、喜びの声をいただけることが励みになっています。中でも印象に残っているのは、カメラが趣味のお客様が現場の作業風景を撮影し、写真をプレゼントしてくださったことです。私たちの仕事をかっこよく切り取り、仕事ぶりを評価していただけたことがとても嬉しく、忘れられない思い出となっています。



どんな時も密なコミュニケーションを心がけています

## この分野・仕事を選んだきっかけ

ものづくりが好きだった子ども時代、リフォームを扱うテレビ番組の影響で建築に興味をもちました。そんな時にちょうど自宅をリフォームすることになり、大工さんの仕事を間近で見るうちに憧れが増していきました。当初は高校卒業後に現場監督として働きたいと思っていましたが、仕事をするうえで必要な知識を学んでおきたいと考え、滋賀職能大に進学。卒業後に夢を叶えて現場監督となりました。入社後は元大工の上司のもとで1年間育てていただきました。当時はついていくのがやっとでしたが、新人時代の経験が私を人間的に成長させてくれたと思っています。今は新築住宅を中心に担当していますが、今後はリフォームの現場にも携わりたいです。



大好きなものづくりに携われて毎日が充実しています

## 学校で学んだこと・学生時代

滋賀職能大は学生のうちに実践経験を数多く積むことができるのが特長。特に基礎から外壁まですべて学生たちの手で家屋を建てていく「建築施工実習」が印象に残っています。周囲と協力して作業を行う中で技能だけではなく、コミュニケーション力も養うことができました。その経験は入社後にも役立っています。リーダーシップのある頼もしいクラスメイトの存在も私にとって良い刺激になりました。最近、OGとして学内で会社説明会を行った際に、在学中お世話になった先生方から「自信をつけてさらに積極的になったね」と声をかけていただきました。学校で学んだことを活かしながら社会で働き、成長した姿を見せられて嬉しかったです。

